

タイトルページ

🌟 目次	
👉	タイトル
👉	第一節
👉	第二節
👉	第三節
👉	第四節
👉	最後の節

|||||➡

1 第一節

PDF の‘しおり’は便利な機能ですが、日本語版の Acrobat Reader が入手できない Linux などの環境では日本語の文字が正しく表示できず活用できません。これはフォームなど‘文書’の内容ではないほかのものすべてに当てはまります。

どのプラットフォームでも活用できるような、‘しおり’に相当するものが作れないわけではありません。この文書がその例です。

目次	
👉	タイトル
👉	第一節
👉	第二節
👉	第三節
👉	第四節
👉	最後の節

2 第二節

この文書で使用されている方法はあまり良い方法ではありません。特に文書と一緒に印刷されてしまうのでお勧めしません。実際作る方も多少面倒な作業が必要です。ある程度は自動化できますが、この例では手動で調整してあります。また制限もあります。

◀は ▶を \reflectbox で左右反転して作っているのですが、リンクのためのボックスがずれてしまいます。いい解決方があったら教えて下さい。

目次	
👉	タイトル
👉	第一節
👉	第二節
👉	第三節
👉	第四節
👉	最後の節

3 第三節

本当は *Form XObject* でやりたかったのですが、ちょっとうまくいきませんでした。ほとんど同じものがページごとに複製されてしまっています。無駄が多いですね^a。

^aでも環境によっては *Form XObject* は表示が乱れてしまうこともあります。ときどき画像の表示がおかしくなるということを経験された方もいることでしょう。

🌸 目次	
👉	タイトル
👉	第一節
👉	第二節
👉	第三節
👉	第四節
👉	最後の節

4 第四節

この例では pifont パッケージを使っているのですが、これがない方は $\text{T}_\text{E}\text{X}$ のソースを編集して下さい。矢印など `\ding{...}` となっている部分で使用されています。

目次	
☞	タイトル
☞	第一節
☞	第二節
☞	第三節
☞	第四節
☞	最後の節

5 最後の節

もっと日本語環境が整えば良いのですが。

目次	
👉	タイトル
👉	第一節
👉	第二節
👉	第三節
👉	第四節
👉	最後の節